

まだらの風



2021年9月21日
学校便り No.10
校長 原 寛喜

『思いやりをもち（徳）、自ら学び（知）、心身を鍛え（体・情）21世紀を生き抜く児童生徒の育成』
～自分を愛し、他人を愛し、島を愛する児童生徒に～

◆小中学校朝会より◆

9月8日（水）に小学校朝会を行い永淵教頭先生がより良い学校生活を送るために「これから行われる行事等を考えながら見通しをもった目標を立てよう。」「好きなことを見つけ取り組もう。」ということをお話されました。9月10日（金）の中学校朝会では、校長が「自分自身が中学生の時にはこんなことをした。」と後から思い出されるような学校生活を送ってほしいということをお話しました。2学期は思い出に残る大切な行事がたくさんあり、行事を通して児童生徒のみなさんが成長する時期でもあります。それぞれの力を精一杯発揮することを期待します。

◆2学期目標の樹が掲示されました◆

2学期の目標の樹が玄関に掲示されました。2学期の始業式で、「頑張ったら達成できるような目標を立ててほしい。」とお話しましたが、児童生徒も職員も自分自身に合った目標を設定できたようです。内容は、「算数の計算をがんばる。」「漢字を覚える。」「ゲーム卒業。」「8時間しっかり寝る。」「予定を立てて時間の使い方を考える。」等学習面、健康面、趣味の多岐に渡っています。12月の終業式で「達成できた!」という人がたくさん出るといいですね。



◆新生徒会長が承認されました。◆

9月16日（木）に生徒会長承認演説会が開催され、山下璃空さんが承認されました。璃空さんは、「みんなが『楽しい』といえる学校」を公約に掲げ、公約実現のために「みんながやりたいことを一つ叶える!」「生徒が企画する。」を実践していきたいとお話しました。発表する姿も堂々としており、やる気に満ち溢れていました。現生徒会長の牧山唯さんの後を引き継ぎ、学校をリードしてくれることを期待します。



中秋の名月

9月21日（火）は中秋の名月です。中秋の名月は旧暦の8月15日の夜に見える月のことをいい、月を見る習慣は平安時代に中国から伝わったそうです。お月見は、獲れた食べ物への感謝の気持ちをお月様に伝えて、今年もお米がたくさん取れるように、お願いするという意味もあります。現在はあまり行われていないかもしれませんが、月に見立てたお団子をお供えしたものです。昔から「月をずっと見ていると、ウサギが餅をついているように見える。」と言われています。そんな気分を味わえたらいいですね。

（写真は、20日（月）に原目住宅で撮影したものです。）

学校便りや各種通信にお子様の写真や名前の掲載を希望されない方は、校長までご連絡ください。